

政治・経済定点観測レポート

ウズベキスタン NOW

【第 35 号:2015 年 2 月－3 月期】

- * 本レポートは ROTOBO の協力者である現地専門家の執筆によるものです。内容は執筆者の個人的見解であり、ROTOBO の組織的見解とはいかなる意味でも関係ありません。内容の無断転載、引用は堅くお断りします。

投資、および金融セクター

ウズベキスタンがドイツから 28 億ドルの投資・融資を誘致

2015 年 2 月 23 日～26 日、ルスタム・アジモフ第 1 副首相兼財務相が率いるウズベキスタン代表団がベルリンを訪問した。訪問の主な目的は、ドイツ・ウズベキスタンビジネス協議会第 1 回会議への参加と、企業経営領域におけるドイツ主要企業の最先端の取り組みの研究であった。

会談の結果、化学産業、機械製造業、電気産業、紡績・繊維産業、食品産業、新たな建設資材の生産、およびその他の分野における総額 28 億ドルの投資・融資協定と貿易契約パッケージが調印された。

ドイツ・ウズベキスタンビジネス協議会の設立者は、MAN、Airbus、ThyssenKrupp、Claas、Knauf、Lemken、Commerzbank、Deutsche Kabel 等の 50 社を超えるドイツの主要企業および銀行である。ドイツ企業グループが同協議会の設立を唱えたのは 2015 年 1 月末であった。同協議会は恒常的に、ドイツにおけるウズベキスタンの投資ポテンシャルの向上に取り組み、プレゼンテーションやフォーラムを開催するとともに、ドイツの政府および議会において、同国内で活動するウズベキスタン企業とドイツ企業の利益を保護していく。

ウズベキスタンとアラブ首長国連邦が総額 1 億 1,950 万ドルの共同プロジェクト実現で合意

貿易・経済協力政府間委員会の会議への出席を目的として E. ガニエフ対外経済関係・投資・貿易相が率いるウズベキスタン代表団がアブダビを訪問していた中で、しかるべき文書への調印が行われた。会議では、互惠的貿易・経済関係の将来的な拡大、ウズベキスタンにおけるハイテク産業構築投資プロジェクトの実現、輸送・観光分野における協力といった問題が審議された。今回の訪問の枠内では、対外経済関係・投資・貿易省傘下の貿易企業数社が、アラブ首長国連邦側の諸企業との間で輸出契約を締結した。契約内容は、総額 7,390 万ドルにのぼる製品の供給である。

ウズベキスタンで 2019 年までの生産構造改革プログラムが承認された

同プログラムには、生産の近代化、および生産技術・生産工程の刷新に関する 846 の投資プロジェクトが盛り込まれており、その総額は 408 億ドルにのぼる。このうち 711 のプロジェクトは新たに開始される投資プロジェクトで、その総額は 196 億ドルである。政府の評価によると、プログラムの実現によって GDP の年平均成長率を 8%以上に確保でき、中でも鉱工業製品生産の成長率が 9%になるという。また、GDP に占める産業の割合は現在の 24%から 2020 年頃までには 27%に伸びることになる。同プログラムは、機械製造、石油ガス、石油化学、化学、紡織・繊維および食品といったセクターに及ぶものである。

エネルギー・セクター

ガスプロムがウズベキスタンでのガス買付け規模の縮小と、ロシア産ガスによるその埋め合わせを計画

2015 年にはトルクメニスタンとウズベキスタンにおけるガス買付け規模が 100 億 m³縮小される。トルクメニスタンでの買付けは 60 億 m³縮小され合計 40 億 m³に、ウズベキスタンでの買付けは 35 億 m³削減され合計 10 億 m³となる見通しである。

ルクオイルと Hyundai Engineering がカンディム・ガス精製処理工場に関する契約を調印

設備供給義務とカンディム・ガス精製処理工場の建設義務を負う請負業者らによるコンソーシアムの代表は、Hyundai Engineering が務めている。同工場の処理能力は年間 81 億 m³になる見通しで、ガスはブハラ州（ウズベキスタン）に位置するカンディム鉱床群から送られる予定である。同工場では、精製天然ガス、ガスコンデンセート、塊状硫黄および粒状硫黄が製造される。カンディム・ガス精製処理工場の建設は、ルクオイルがウズベキスタンで展開する最大級の投資プロジェクトである。以前報じられたところによると、この工場の総額は、インフラ設備も含めて 28 億ドル前後になるという。工場第 1 期の操業開始は 2018 年の予定である。カンディムプロジェクトは、ルクオイルが生産物分与協定の枠内で 2004 年からウズベクネフチェガスと共同で展開している。カンディム鉱床群には、カンディム（Kandym）、クヴァチ・アラト（Kuvachi-Alat）、アックム（Akkum）、パルサンクリ（Parsankul）、ホジ（Khoji）、西ホジ（West Khoji）の 6 つのガスコンデンセート鉱床が含まれている。

輸送セクター

世界銀行が鉄道「アングレン - パプ」ルート建設に 1 億 9,500 万ドルを融資

2015 年 2 月 13 日、世界銀行理事会は貸付を承認した。同プロジェクトによって、フェルガナ渓谷とウズベキスタン各地との交通が改善される。プロジェクトの枠内では、総延長 124km の単線鉄道ルートが建設が予定されており、うち 19.2km はカムチク峠を抜けるトンネルとなる。

プロジェクトには、アジア開発銀行の CAREC（中央アジア地域経済協力）プログラムの実現を促進する効果もある。「アングレン - パプ」ルートは、中国とコーカサス地域を東西に結ぶ「回廊 2」の一部となる。国営株式鉄道会社ウズベキスタン・テムル・イウラリ（Uzbekiston Temir iullari）の予測によると、操業初年度における輸送規模は旅客 60 万人、貨物 460 万 t 前後になるという。プロジェクト総額は 16 億 3,000 万ドル。資金は主に、ウズベキスタン・テムル・イウラリの自己資金、国家予算およびウズベキスタン再建・発展基金から提供される。また、中国輸出入銀行から 3 億 5,000 万ドル、世界銀行から 1 億 9,500 万ドルがそれぞれ提供される。

その他のセクター

ウズベキスタンの金生産量が 4%増加し、金生産国における順位が 8 位から 7 位へ上昇した

2014 年の金生産量が 102 t にのぼった。生産量の伸びは、新規鉱床の段階的な開発開始によるものである。これに伴い、金の推定追加埋蔵量が区画割済み埋蔵量を上回った。ウズベキスタンでは、ナヴォイ鉱山製錬コンビナートとアルマルィク鉱山製錬コンビナートの 2 社が金の生産を手掛けている。ウズベキスタン共和国地質・鉱物資源国家委員会のデータによると、2011 年末時点で、同国では 63 の金鉱床が発見されている。専門家の評価によれば、ウズベキスタン国内における金の既知埋蔵量と確認埋蔵量は 2,500 t を超えるという。

ウズベキスタンが自動車パーツの輸出を拡大

2014 年 12 月、ブラジル企業 General Motors do Brasilia LTDA の自動車パーツの最初のロットが供給された。GM Uzbekistan とその関連企業は現在すでに、自動車 Cobalt 用のパーツ 180 種類超を生産しているが、品目は常に拡大されている。ウズベキスタンでは、年間 12 万台の Cobalt が生産される計画だ。こうしたパーツを輸出向けに追加供給することで、既存の生産、および新規に設立される生産の効率が向上する見込みである。

ウズベキスタンにおける職業訓練センターの新規設立に韓国が 1,500 万ドルを供与

KOICA（韓国国際協力団）はこの資金で、2018 年までに職業訓練センター 2 カ所をウズベキスタンに新たに設立する。KOICA はサマルカンドでの職業訓練センターの建設を

2016 年に終え、2017 年にはシャフリサブズ（カシュカダリヤ州の地区中心地）に同様のセンターを建設する予定だ。これらの訓練センターで、毎年 700 人前後が特殊訓練および職業訓練を受けることができるようになる。2012 年には、タシケントで KOICA によるウズベキスタン初の職業訓練センターが事業をスタートさせた。最新鋭の職能訓練設備と応用設備を備えた同センターでは、これまでにおよそ 1,230 人が、機械製造、自動車製造、電気工学、情報通信技術といった 4 つの分野での訓練を修了した。

2015 年 1 月～2 月の GM Uzbekistan のロシアでの売上が 56%減少

2015 年 1 月～2 月のロシアでの自動車販売台数は 3,654 台となった。前年同時期（8,254 台）と比べると、販売台数は 56%減となった。2 月には、2014 年 2 月の 4,536 台に対し 1,639 台となり、売上の落ち込みが年率で 64%となった。ロシアの自動車市場における販売規模で見ると、GM Uzbekistan は 2 月には 18 位となった（1 月は 16 位）。